

目標達成計画

事業所名 グループホーム あさぎり

作成日：平成 24 年 3 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37 38	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や外出支援等実施しているが、入居者の要望に応えているか不明な点がある。入居者の自己決定機会を作ったり、その方の力が発揮出来るような支援が行われていないことがある。 ・入居者の過ごしたいペースで生活が送れているかどうか、日頃の支援方法について振り返り入居者中心に考える必要がある。また、基本的な支援方法を振り返り専門職として自立支援へとつなげたい。 	<p>現在行われている支援方法を振り返り、専門的立場で自立支援を支えていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム内外の勉強会への参加、意見交換会を実施する。ホームで行われている支援について振り返り、改善へとつなげる。 ・理念に基づいた実践方法を検討する。 ・職員各々の目標達成シートを活用し、個々のスキルアップに励む。 ・入居者の方々との会話を大切にし、共感したり要望を伺ったりする機会を持つ。要望を取り入れながら個別ケアを行い、その方の自立支援を促す。 	6ヶ月
2	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で利用できる社会資源を日頃の支援に活用できていない。もっと地域資源を活かした支援を取り入れていきたい。 ・社会福祉施設として地域社会に貢献していきたい。(情報発信・相談機能等) 	<p>地域における社会資源を活用し、地域との交流を図りながらその人の望む生活の実現を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマップ作成の為、土気地区で利用できる資源を調査する。入居者も同行し、見学したりして興味を引き出す。 ・エコマップを作成し、入居者の方々がどんな活動に参加できるか、どんな施設利用が可能かを検討し実行する。 ・作成したエコマップは家族や町会の方々へも配布し、活用してもらう。 ・ボランティアを募集し、積極的に受け入れ地域の方々との連携を作る。 ・地域の方々や家族も参加できる行事の開催。(文化祭、昔懐かしい遊びの会、外出デー等) 	8ヶ月
3					ヶ月